2023 年 10 月吉日

**一般財団法人　日本エネルギー経済研究所　中東研究センター**
**2023 年度　国際シンポジウム開催のご案内**

平素は格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

12 月 6 日・7 日に開催を予定しております、日本エネルギー経済研究所中東研究センター主催の 2023 年度国際シンポジウムについて、ご案内申し上げます。本年は初日の特別セッションをオンライン、二日目の公開セッションを対面形式で開催いたします（録画は後日、会員限定で公開予定です）。

奇しくも 1973 年 10 月の第 4 次中東戦争と第一次石油危機から 50 年目となる今年、ハマースによる大規模攻撃をきっかけとしてイスラエル・パレスチナ情勢が深刻化し、中東域内の緊張が高まっています。2022 年 2 月からのウクライナ・ロシア戦争が依然として国際エネルギー情勢に大きな影響を与える中、中東の不安定な情勢が日本を含めた国際社会のエネルギー安全保障を脅かし得る状況が、改めて浮き彫りになりました。

一方で、豊富な石油・天然ガス資源や資金力、さらには再生可能エネルギーや水素エネルギー開発に大きな潜在性を持つ中東と、アジア諸国の政治的・経済的関係が拡大しています。中国の仲介によるサウジアラビアとイランの外交関係正常化、中東・アジア諸国の経済連携協定の拡大、インド・中東・欧州経済回廊（IMEC）の構想など、アジア諸国が中東への関与を強めています。他方、中東諸国の多くも「ルックイースト」ともいうべき傾向を強めています。このような動きは、中東とインド太平洋地域の接続性を高め、日本の対中東外交・ビジネス、そして「自由で開かれたインド太平洋構想（FOIP）」にも大きな影響を与えるものと予測されます。

そこで、本年の国際シンポジウムでは「中東とインド太平洋 : 新たなパートナーシップの可能性」と題し、地域の政治・安全保障情勢の分析に加えて、近年の中東・アジア諸国の政治的・経済的接近の最新動向と背景、そして日本にとっての機会と課題について、英国、アジア、中東の第一線の研究者ならびに中東研究センターの研究員からの報告を通じて検討いたします。

なお、シンポジウム終了後には懇親会を開催いたします。中東研究センターのメンバーも参加しますので、この機会をぜひネットワーク強化の場としてもご活用いただけると幸いに存じます。

ご多用の折とは存じますが、奮ってご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

一般財団法人　日本エネルギー経済研究所
理事長　　寺澤　達也